



大場 洋介 議員

# 学校部活動の方向性は

## 【回答】令和5年度「部活動改革元年」と位置付け

学校部活動の方向性について教育長の認識は大場洋介議員 少子化の影響により生徒の減少をたどっており、学校単位での部活動の維持運営は益々困難と想定している。そのような状況を改善するため、今後の部活動に対する課題を明らかにすると共に、学校教育における部活動の理想の姿を教育長 地域・学校・競技種目等に合わせた多様な形で最適に実施されることを目指すとし、令和5年度を「部活動改革元年」と位置づけ、休日の部活動から段階的に地域に移行することを考える。学校活動の部活動から民間や町の総合型地域スポーツクラブでの活動も協

議しているが、指導者の確保や保護者の負担軽減等、課題も多く国や県の動向を注視しながら慎重に議論を重ね、本町に見合った部活動の在り方を見出し、不登校児童・生徒への支援は児童・生徒への寄り添い共感的理解と受容の姿勢を持ち、教育の機会と理解する事と考える。ICTを活用しての学習や一人一人に合わせた学びの推進、フリースクール等の実践可能な支援も、今後の支援について伺う。

児童・生徒の現状は、ここ数年多い状況が続いている。「不登校予防対応ガイドライン」を作成し、早期対応に活用している。学校に行かない状況の対応として「出席扱いに関するガイドライン」を作成し、「セラピーファーム」を共有しながら状況

改善に努めている事例もある。児童生徒への共感的理解と受容の姿勢が広がる事こそ、多様な児童生徒一人一人の自己実現に向けて大きく展開が見込まれる。不登校や不登校にたいしての理解を広め、すべての児童生徒の学習保障に繋げられるよう努力する。



セラピーファームめごたま

かねやま大業校の今後の展望は、人材教育的要素をもった事業が展開されているが、カッブル成立や結婚へ進む程に発展する方が少ない状況。結婚・出産への不安要素を軽減する上で、今後必要とする

考える。事業見直しで今年度での廃止の検討材料となつてはいるが、政策課課長 結婚への希望が叶えられるよう行政が今後も目を向け、事は重要であり、結婚・出産をためらう事のないような環境整備は行わなければならない。事業の廃止を予定している支援は実施したいと考え

町長 婚姻に伴う経済負担を増やさないよう、出生率を高めたいという目的と受け止めるよう、結婚に踏み切れるよう背中を押すための若い方々の「結婚・出産・子育て」の候補地

結婚新生活支援に対する町長の所見は大場議員 内閣府の方針として少子化対策の一環であり、新婚世帯の家賃や引っ越し費用など新婚生活に係る費用の補助を拡大し、経済的理由で結婚を諦めることがないよう、後押しする狙いである。結婚・出産・子育てしやすい環境を今後も継続する上で、この方針についてどう捉えているか。

町長 長期的にみて持続可能な程度に人口を安定させることを目的として施策展開すると掲げており、今後とも想を最優先課題として、少子化が進む背景には、経済的負担・雇用状況や社会的経済情勢、子育ての負担感、住宅問題などの要因もあり、近年では個人の価値観やライフスタイルの多様化が進んでいる。国や県・他市町村の事例を参考にしたものとなるよう努めていく。



12月定例会の初日(12/4)に次の事項について一般質問が行われた。(通告順)

- ◆ 大場 洋介 議員 …… P7
  - ① 結婚支援事業について
  - ② 児童・生徒を応援する地域の役割について
- ◆ 中村 忠行 議員 …… P8
  - ① 消防団の処遇改善について
- ◆ 星川 智子 議員 …… P9
  - ① 金山町は観光に力を入れていくのか
- ◆ 沼澤 道也 議員 …… P10
  - ① 今後の金山農業の方向と考え方について

**一般質問とは**  
 年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。  
 町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。